

2010年3月31日

外務大臣 岡田克也 殿

愛宕山を守る市民連絡協議会  
代表世話人 岡村 寛

### 米軍再編問題の解決に向けて（要請）

平成22年度政府予算に、空母艦載機の岩国移駐と愛宕山買取経費がいきなり計上され、また、岩国に関する米軍再編は従来通り進めるという政府の方針も示されました。新しい政権による再検討を期待していた多くの市民は裏切られた思いです。

旧政権においては、庁舎補助金カットに象徴されるアメとムチの一方的なやり方で市民の意思を抑えつけ、また、米軍住宅化という重要な事実が意図的に隠されたまま、愛宕山開発事業の廃止のための法的手続きが強引に行われるなど、市民の不信感が高まっていました。

新しい政府が、こうした経緯や問題点を十分に検証することなく旧政権の方針を踏襲するということでは、政権交代の意味がないし、到底納得できません。

我々は、新しい政権を支持し期待しています。相協力して米軍再編問題の根本的解決を図るために、下記事項について要請します。

### 記

#### 1. 空母艦載機部隊の移駐について

空母艦載機部隊の移駐に関して、新しい政権としての考え方を明らかにし十分な説明責任を果たすとともに、影響を受ける住民の声に耳を傾け、必要があれば計画の見直しも含めて、住民との合意が得られるよう真摯な努力を行うこと。

また、住民との合意が得られるまでの間は、愛宕山の買取を含む今回の予算の執行を見合わせることを。

#### 2. 愛宕山開発跡地の買い取りについて

防衛省の目的は米軍住宅を含む米軍再編関連施設の建設にあると考えるが、愛宕山という市街地の真ん中に広大な米軍基地を新たにつくることは、岩国市のまちづくりにとって測り知れない障害となり、絶対に認められない。

愛宕山開発跡地を岩国の発展のために有効活用するため、愛宕山開発事業の趣旨に沿った新「愛宕山まちづくりプラン」を提案している。その実施に当たっては、ぜひ国の支援をいただきたい。